広報かじき

No.325
昭和56年12月号

発行　加治木町
編集　総務課

“小百合ちゃんバンザーイ”

乳児健康審査で知事賞

第２５回県秋の乳児いっせい健康審査が、このほど行われ、町内西別府永原の福森小百合ちゃん(パパ俊朗・ママ小枝子)が県で１位の知事賞に選ばれ、この表彰式が11月22日鹿児島市の高島屋で行われました。

(関連記事は７ページに掲載)

◆人口22,678(＋36)　男10,695(＋19)　女11,983(＋17)世帯 7,627(＋７)　56.11.1現在(　)内は前月比

56年度上半期財政状況

一般会計予算額 42億7千97万7千円

本町では、町の財政状況について、年二回公表することにしています。

これは、昭和五十六年度上半期四月から九月まで、みなさんが納めた税金や、国・県等からの収入が、どのように使われているか等、正しく理解していただくためにお知らせするものです。

一般会計の財政事情

歳入

昭和五十六年度予算総額は歳入歳出それぞれ四十二億七千九十七万七千円となっています。

町税等独自の財源 十八億八千九百九十三万円

歳入の内訳は、別表のとおりでありますが、町税等自主財源が十八億八千九百九十三万二千円、国や県等からもらう依存財源が二十三億八千百四万五千円で、本町の財源は、自主財源四十四・三パーセント、依存財源五十五・七パーセントでまかなわれていることになります。

自主財源の主なものは、町税十億五千四百七十一万七千円で残りの八億三千五百二十一万五千円が諸収入や使用料及び手数料等であり、町税の予算に占める割合は、二十四・七パーセントとなります。

一世帯当りの税負担 十四万二百十七円

住民の税負担の状況は、町予算のうちおおむね四分の一が町税によってまかなわれていることになりますが、これは住民一世帯平均で十四万二百十七円、一人当り四万七千八十一円の負担となります。

依存財源の主なものは、地方交付税九億四千七百七十七万円（二二・二パーセント）、国庫支出金七億九百二十一万六千円、県支出金二億九百六十五万九千円、町債四億二千七百六十万円等であります。

歳出

普通建設事業費 三六・二パーセント

歳出について、性質別に大別すると普通建設事業費十五億四千六百四十二万七千円（三六・二パーセント）人件費九億二千三百四十六万七千円（二一・六パーセント）、物件費五億五千八百六十六万八千円（一三・一パーセント）、補助費等三億五千三百五十八万三千円、扶助費三億一千四百十五万円、公債費二億五千二百十四万五千円等であります。

普通建設事業費の主は 地域し尿処理施設費

普通建設事業費のうち主なものは、地域し尿処理施設整備三億五千九百十九万五千円、都市計画事業（街路）二億五千二百五十万二千円、道路整備事業一億四千七十四万円外、統合中学校建設費や、公園整備事業等であります。

町の借入金二十三億七万二千円

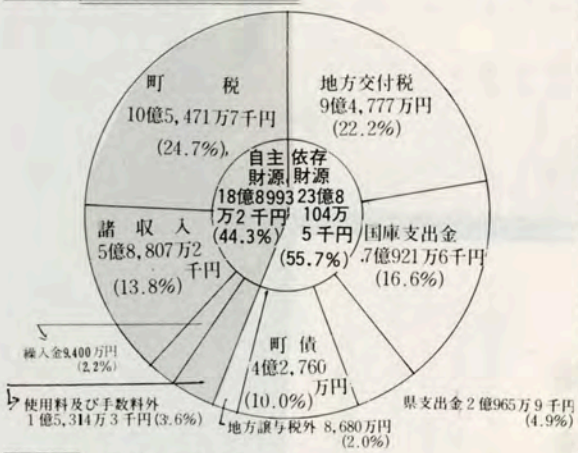
町債（町の借入金）については、昭和五十五年度末現在で十九億七千八百三十六万三千円で、これに今年度借入予定額四億二千七百六十万円と償還額一億五百二十六万一千円で今年度末残高は二十三億七万二千円となる見込みです。

の台所

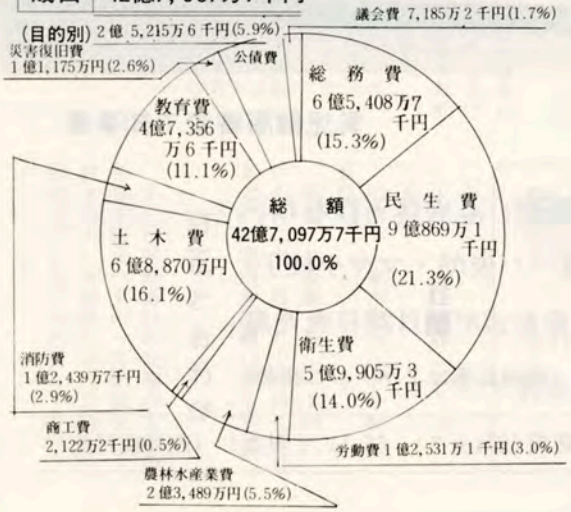
工事が進む加治木保育園

昭和56年度　上半期歳入歳出予算内訳

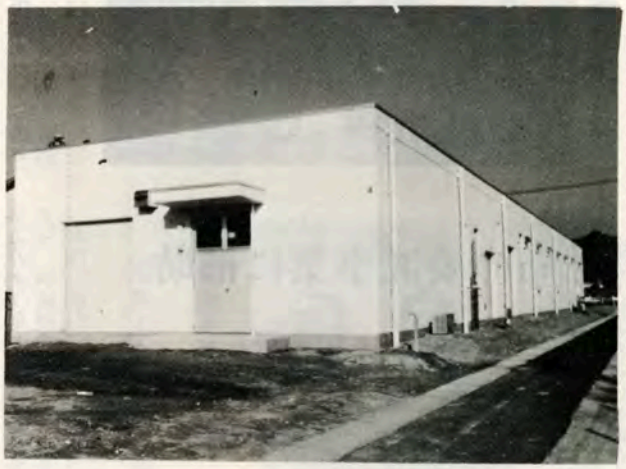
歳入　42億7,097万7千円



歳出　42億7,097万7千円



わが町



継続事業で工事が進む地域し尿処理施設

55年度一般会計決算状況
決算額47億9千378万5千円

九月三十日、開会された定例第三回町議会で昭和五十五年度の決算が審議され、十月二十三日、認定されましたので、その概況をお知らせします。

昭和五十五年度一般会計の決算額は、歳入四十八億二千五十九万二千円、歳出四十七億九千三百七十八万五千円となり、差引額二千六百八十万七千円でありますが、そのうち千四百万円を決算積立金として財政調整基金に繰入れたため、その残額千二百八十万円が翌年度財源として繰越されたことになります。

一般会計

歳入

歳入の主なものは、自主財源（町税等独自の財源）十九億三千八百十五万九千円（四〇・二パーセント）依存財源（国や県から入る財源）二十八億八千二百四十三万三千円（五九・八パーセント）で依存財源が自主財源を大きく上回っています。

自主財源のうち主なものは、町税九億二千五十一万七千円、諸収入四億九千八百七十二万円、使用料及び手数料六千九百七十四万七千円等であります。

依存財源の主なものは、地方交付税九億三千二百四十六万七千円国庫支出金十億三千七百二十三万一千円、県支出金二億一千三百五十八万三千円、町債六億一千二十万円等であり統合中学校建設にともなう町債が多くを占めています。

町税の負担　一世帯当り十二万二千三百七十六円

五十五年度町税の負担額は一世帯当り十二万二千三百七十六円一人当り四万一千九十円となります。

歳出

歳出の内訳は性質別にみますと人件費八億五千四百五十四万六千円、扶助費二億九千六十四万円、公債費一億九千三百十二万二千円で義務的経費が十三億三千八百三十万八千円、普通建設事業費は統合中学校の建設により大幅に増え二十二億六千八十七万八千円、災害復旧事業費一億二千三十三万二千円等で投資的経費が二十四億七千七百二十七万円となっています。

物件費は五億二百七十二万八千円、補助費等は三億四千九百七十七万五千円でその他の経費が九億七千八百二十万七千円等となり、歳出は中学校統合にともなう施設の整備、通学路整備、住民の生活環境の整備等により普通建設事業費が大幅な延びを示しています。

五十四年度決算に比べて義務的経費の人件費、扶助費、補助費等の構成比は低下の傾向にあるが、引き続き健全財政確立に向けて一層の努力が必要と思われます。

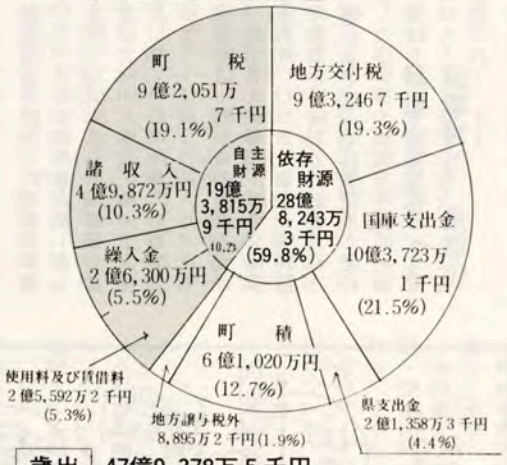
今後の行政需要に対処できるようこの数年間財政調整基金を積み立ててきたところですが、統合中関係施設等の整備に二億六千三百万円を繰入れたので決算積立金まで含めて現在高は一億八千一百九十八万三千円となっています。

55年度に実施した主な建設事業

公営住宅建設、中学校統合事業街路事業、地域農政整備、町道整備、公園整備、地域し尿処理施設等であります。

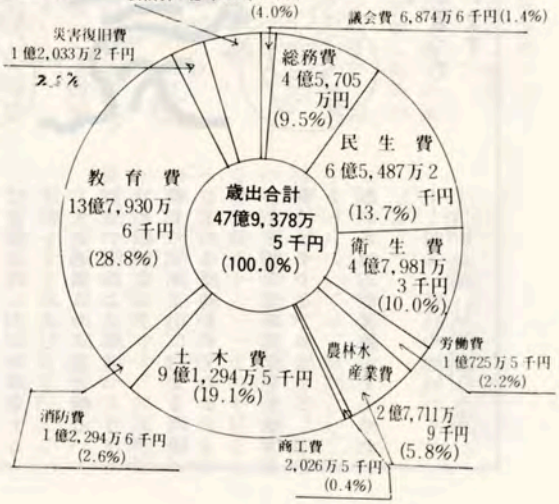
昭和55年度歳入歳出決算内訳

歳入　48億2,059万2千円



歳出　47億9,378万5千円

(目的別)



〝町の教育・環境を守ろう〟と議会決議

町内青少年の健全育成を図ろうと、町議会では「青少年環境浄化推進」に関する議会決議をしました。

これは、さる七月に町内小山田地区に一戸建ホテルの建設計画が判明しました。そこで町PTA連絡協議会や町子ども会育成連絡協議会、町連合婦人会、町地区公民館連絡協議会、町自治会連絡協議会の方々が町当局と協力して、建設準備を進めている関係者に中止方を要望しました。しかし、その要望は、聞き入れられず、八月には、町に土地利用協議書が提出されました。

子どもを守るこれらの団体は、このホテルは子どもたちの健全育成に大きな悪影響を与えるものとして、ただちに「町教育環境浄化推進協議会」を結成し「加治木の子どもの教育環境を守るため、一戸建ホテルの建設計画を中止してもらうよう嘆願署名運動」に立ち上がりました。町内成人対象者の七七・三%にあたる一〇、一九九人の署名をもって設置者ならびに土地所有者に、建設計画の中止方を強く嘆願しました。

このような中で、町議会では、青少年に悪い影響を及ぼすおそれのあるこのような施設等に対しては、今後町民の総意を結集して環境浄化に努めるべきであると、次のような決議がされました。

青少年環境浄化推進に関する決議

「社会的に青少年を取り巻く環境はまことに厳しいものがあり、特に、最近は青少年の非行、暴力等目にあまるものがある。

ところで、本町は歴史的に文教の町として青少年の健全育成については特に関心を持ち、取り組んできているところである。最近青少年の教育環境に悪い影響を及ぼし、非行、犯罪を誘発するおそれのある施設、看板等の設置、有害図書のはんらん等がみられ、このまま放置すると青少年の健全育成に悪い影響を与えるばかりでなく教育と文化の町を汚すことにもなりかねない。

これら青少年に悪い影響を及ぼすおそれのあるものについては、今後住民の総意を結集して、極力設置者の良識に訴えて、環境の浄化に努めるべきである。」

機能回復訓練に励む老人たち

町の委託事業に補助

車両競技公益資金記念財団

機能回復訓練等、町が委託事業をしている特別養護老人ホーム「望岳園」に財団法人車両競技公益資金記念財団が施設の補修整備補助として、一千六百万円を寄贈しました。

望岳園は、町からの委託を受けて、在宅老人食事サービスや機能回復訓練、ねたきり老人一時保護等の事業を実施しています。

望岳園では、この補助金で、老朽化した診療室や訓練室等施設設備の補修を行い立派に完成し、入園者はもとより在宅の老人たちに大変喜ばれています。

年末年始の新生活運動をすすめよう

師走の声が聞かれると、どこの職場や家庭でも何かと慌ただしさが感じられ、毎年この時期になると、どろぼうや暴力犯罪交通事故が増えています。

年末年始を迎えるにあたり、身近な家庭、職場、地域社会における日頃の生活を見なおし、一人ひとりが自らの創意によって、くらしの改善をはかりましょう。

実践事項

○国旗をかかげる運動をすすめましょう。

○資源とエネルギーを大切にする運動をすすめましょう。

——「物を大切にする運動」をすすめると共に「形式的な贈答等」はやめましょう——

○社会生活のルールを確立する運動をすすめましょう。

——交通事故の防止と明るい生活や住みよい環境づくりにつとめましょう——

○郷土の伝統文化に対する理解を深める運動をすすめましょう。

——地域の伝統芸能、伝統行事にはすすんで参加しましょう——

○あいさつ先手運動をすすめましょう。

——明るい家庭や地域づくりは、まずあいさつから——

十二月です
みんなが狙っています。

葬儀費用の簡素化事業発足

地区公民館連絡協議会

町民の福祉と地域づくりをすすめている地区公民館連絡協議会（諏訪国義会長）では、かねて冠婚葬祭の簡素化について協議していますが、さし当り葬祭簡素化事業をすすめることにしました。

この事業は、町内三葬祭業者の深いご理解と協力によって、人間社会に生きる私たちが、一度は経験しなければならない葬儀の費用の軽減を図るものです。

事業は、地区公民館連絡協議会が各葬祭業者と共通の「葬儀取扱いに関する契約書」をとり交わして、地区公民館連絡協議会、自治会連絡協議会、町連合婦人会、町青年団連絡協議会の四団体ですすめます。

町民の皆様が、この趣旨をよく理解されて、十二月十五日以降の葬儀からは、もよりの自治会長に相談されると、神式、仏式にかかわらず葬儀依頼について面倒を見ていただくことになります。

なお、近日中に「加治木町葬祭簡素化事業契約要項」を各家庭にお届けしますので、町民の皆様のご理解とご利用をお願いいたします。

十一月十一日行われた大会

タコあげは電線のないところで

タコあげのシーズンです。お父さま、お母さまへお願い。

電線の近くでは、タコを絶対あげないように、お子様へご注意ください。九州電力では、五十四年度に全九州で、電線にひっかかった約二、四〇〇個ものタコを除去しました。

電線にかかったタコは、危険ですから自分でとらずに、最寄りの当社営業所へご連絡ください。

●タコをとろうとして電柱にのぼるのはやめましょう。

●タコをとろうとして、糸をひっぱったり電線を竹ざおなどでつつくのは大変危険です。

そのために停電して近所のみなさまに大変迷惑をかけることがあります。

ゲートボールクラブに加入しませんか

町ゲートボールクラブ（稲恒肇代表）では、会員を募集しています。

町内の老人クラブの方々にゲートボールを始めませんかと進めますと、「まだ若いから」と誰も同じ返事が返ってきます。腰が曲ってからでは既におそいです。運動競技は少しでも早い方が健康維持にもよいことです。

ゲートボールは、はた目には、いたって単純で面白くないように見えますが、一度始めますとやめる人はいません。

これは、他の競技と違い身近でできり、運動競技に経験のない人でも興味が湧き、上達も早い運動だからです。

ゲートボールによって健康保持は勿論、仲間づくりや連帯感の精神を養い、明日への希望が湧き、老後の適当な運動であります。

町でも老人福祉のため、昨年度は、ゲートボールコートを六箇所も新設していただきました。

しかし、本町は郡内での普及率は、最下位の状況にあります。

五十五年四月現在、県内のトップは、財部町で一千四百十六人、中種子町一千二百人、郡内では、国分市が五百三十四人、蒲生町で三百九十三人、串人町三百七十八人等で本町は、百十二人であります。

当クラブでは、初心者のため、講習会を一か月間位、始めたいと企画しております。

どうぞ腰の曲らないうちに、男女を問わず、申し込みください。

詳細は、電話三一三七五四番稲恒まで御連絡ください。

竜門の会

篁を漏るる夜寒の遠あかり　大迫　すみ

鈴の音に牛が踏みゆく草紅葉　能勢真砂子

ゆるやかに舞ひて落葉の地に還る　横山　江南

暁雲の松に掛かりて鵟猛る　加藤　白柳

小春日の黄を盡くしけり大銀杏　三浦　ゆう

牧の牛露けき朝の乳溜めて　井之上透山

谷水に湯の香ただよふ枇杷の花　鶴田　耕

高千穂の雲海のぞむふところ手　古江　重美

秋時雨雨滴も匂ふ実山椒　宮脇　思川

温室咲きに硝子の曇り夜毎増す　恒吉　斗南

乾きたる音ひそやかに枯葉行く　高木　正男

抜糸して生たしかむる菊白し　上野　光

蟷螂に見透かされたり苦吟かな　田代　俊泉

お詫び

先月号の第一句

ここからは秋風のみのけもの径　横山　江南

とありますのは、恒吉斗南の作品で、

横山江南作品の

飛ぶ雲の影うつりゆく牧小春

がぬけておりました。

ここに訂正してお知らせします。

（当番上野　光　記）

スポーツだより

地区対抗駅伝大会

優勝は永原地区

第十回地区対抗駅伝競走大会は十一月八日、加治木女子高正門前をスタート堤防折り返しのコースで行われ、永原地区が優勝しました。

編制は、小学生男子二人、女子一人、中学生男子二人、女子一人高校生以上一人、一般男子二人、女子一人の計十人が、二十一・五キロを完走しました。

成績は次のとおりです。

団体の部

優勝＝永原地区1時間20分46秒
二位＝城北地区1時間23分2秒
三位＝城東地区1時間23分39秒

小学生から一般女子へタッチ

区間賞

一区城照行（永原）二区山口かおり（永原）三区遠矢節子（城南）四区高田剛（城南）五区大脇武二（城北）六区上村光秋（永原）七区井上貴光（城南）八区原口正則（城北）九区大岩根都（城南）十区鮫島幸治（城北）

小学生陸上記録会

新記録 五 個

町陸上記録会が、小学校五・六年生を対象に、十月二十九日、町営運動場で行われ、新記録が五個生れました。

これは、児童の体力向上と、県下の小学校における記録の実態を握するとともに、体育の振興をはかる目的で行われるもので、この日は、百メートル走等八種目に元気いっぱい記録に挑戦しました。

一位の記録は次のとおりです。

百メートル走

五男　前田大伸（柁）15秒2
五女　内野美奈子（錦）15秒2
六男　脇　裕司（柁）13秒9
六女　川越央子（柁）14秒7

女子四百メートル走

五年赤坂かおり（錦）1分16秒7
六年下小牧美保（錦）1分11秒9㊟

男子千メートル走

五年　鮫島孝治（柁）3分32秒2
六年　大番哲郎（柁）3分20秒0㊟

六十メートルハードル走

六男　加世田竜二（柁）10秒3
六女　楠元裕佳（柁）10秒9㊟

走り幅とび

五男　西森芝之（錦）3M72
五女　新　智美（永）3M69
六男　重　成彦（柁）4M22
六女　深港　緑（柁）3M84

走り高とび

五男　久留賢二（柁）1M20
五女　赤坂かおり（錦）1M10
六男　脇　裕司（柁）1M43㊟
六女　佐々木智恵（柁）1M15
福添真紀子（柁）1M15

ソフトボール投げ

五男　大村健二郎（柁）53M80㊟
五女　山口智子（錦）32M36
六男　大番哲郎（柁）58M34
六女　池田恭子（柁）38M15

四百メートルリレー走

五男　柁城A　1分3秒7
五女　錦江A　1分4秒4
六男　柁城A　58秒7
六女　柁城A　1分1秒0

（㊟は新記録）

義弘公奉賛武道大会

弓道・剣道に一五五チーム

第十四回義弘公奉賛武道大会の弓道大会は十月二十五日、精矛神社境内で、剣道大会は、十一月二十三日、加治木中体育館でそれぞれ行われました。

出場者は、弓道に県内の中学生から一般まで四十五チーム、剣道に小学生から一般まで百十チームが参加して盛大に催されました。

成績は次のとおりです。

弓道＝中学生男子①加治木中A②溝辺中③蒲生中A
同女子①加治木中A②蒲生中
高校生男子①加治木工高A②同D③栗野工高
同女子①鹿児島女高②国分実高B
一般男子①加治木町役場②日吉町③県庁

剣道＝小学生①富隈剣ス少A②加治木剣ス少B③境剣ス少A・蒲生剣少
中学生①吉野中B②帖佐中A③菱刈中A・城南剣ス少
高校生①鹿児島実高B②同C③蒲生高・鹿児島実高A
一般①加治木警察署②土曜会③鹿児島剣親会・電報電話局

高校生男子の熱戦

町ロードレース大会

三十九人が挑戦

十一月一日、町ロードレース大会が行われ、中学生から一般まで三十九人の選手が町営運動場から堤防沿いのコースを力走しました。

成績は次のとおりです。

中学生男子四千メートル

一位＝隈原伸一（加中）12分55秒
二位＝垣内英人（加中）12分57秒
三位＝今村　滋（加中）13分2秒

中学生女子二千メートル

一位＝藤島かおる（加中）7分37秒
二位＝田上美智子（加中）7分42秒
三位＝山下博子（加中）8分5秒

高校生男子六千メートル

一位＝竹内道弘（加工高）19分32秒
二位＝沢津寿久（加工高）20分32秒

一般男子六千メートル

一位＝原口正則（役場）19分28秒
二位＝中川正孝（加中教）20分14秒
三位＝大脇武二（自衛隊）21分41秒

町ゲートボール大会

優勝は諏訪チーム

町ゲートボール大会は、十一月十一日、町営運動場で十七チームが出場して行われました。

成績は次のとおりでした。

優　勝＝諏訪チーム
第二位＝塩入チーム
第三位＝竜門Bチーム

観覧者の目を楽しませた 加治木町文化祭

第十五回町文化祭が十一月二日三日の二日間、町福祉センターで行われ、おおぜいの人達でにぎわいました。

展示部門は、二日から三日にかけ、写真、短歌、俳句、書道、盆栽、編物、生花、洋画等丹精こもった作品約二百十点が会場いっぱいに展示されました。

二日目は、茶会が第三会議室でお茶のサービスをし、芸能発表では、ホールいっぱいの観客の前で昼から夜にかけ、日舞や吟道等四十五種目のプログラムに、日頃の練習の成果を披露し、会場の拍手をあびました。

練習の成果を発表

町戦没者追悼式 遺族ら350人が参列

本町の戦没者追悼式が十一月十九日、町福祉センターで遺族等三百五十人が参列して、しめやかに行われました。

式では、まず国歌斉唱のあと戦没者の霊に黙とうをささげ、東町長の式辞に続いて下猶議長や遺族会代表の稲恒肇さん、又遺族を代表して武田節子さんが「戦後三十六年、いまでもあのときの悲しみは忘れることはできません。若かった私達も年をとりました。しかし父はなくても子供たちも立派に成長しました。どうか安心してお眠りください」と追悼のことばがあると、そっと目頭をおさえる参列者が多く見られました。

このあと釣野ミチさんの詩吟献詠「姫百合」があり、菊で飾られた祭壇に一人ひとり献花をささげ式は終りました。

献花の菊をささげる遺族者

県乳児健康審査 知事賞に 永原の福森小百合ちゃん

第二十五回県秋の乳児いっせい健康審査が十一月八日に鹿児島市の高島屋で行われ、本町永原の福森小百合ちゃんが県一位の知事賞に選ばれました。また、本町から代表として参加した四人とも準特選児に選ばれるなど輝かしい成績でした。

この表彰式は二十二日、高島屋で行われましたが、知事賞に選ばれた小百合ちゃんは、福森俊朗さん(三五)の長女でことし一月生まれ。身長七四㌢、体重一〇・五㌔、胸囲五〇㌢で県内各地で予選を通過した赤ちゃん二百三十人の中から選ばれたものです。

知事賞を受ける小百合ちゃん両親

本町からの入賞者は次のとおり

県知事賞＝福森小百合（俊朗の長女・永原）

準特選児＝前原直哉（勝矢の長男・空港団地）江口有美（和夫の長女・上木田）

優良児＝上野廣樹（弘秋の長男・田中）

内閣総理大臣表彰 本町職員 二見康洋さん

本町役場職員竹下の二見康洋さん(三〇)が統計功労者として内閣総理大臣表彰を受けました。

二見さんは十二年間にわたり統計事務に従事し、その成績がきわめて優秀であり、他の模範となるとして表彰されたものです。

また、加治木町も国勢調査の実施について、その成績が優秀であったとして、県内でただ一町内閣総理大臣表彰を受けました。

この表彰伝達式が十月二十三日県情報統計課で行われました。

総理大臣表彰の東町長（左）と二見さん

貯蓄と税金

銀行などに預金をしたときの利子などについては、原則として所得税がかかります。しかし、貯蓄の奨励、勤労者の財産形成の促進などの観点から、一定の手続をとることによって所得税がかからない制度が設けられています。それが非課税貯蓄制度です。非課税貯蓄制度の種類は次のとおりです。

○少額貯蓄（マル優預金）
元本三百万円まで

○少額公債（特別マル優）
元本三百万円まで

○勤労者財産形成貯蓄
元本五百万円まで

○郵便貯金
元本三百万円まで

○住宅積立郵便貯金
元本五十万円まで

このような非課税貯蓄制度を最大限に利用しますと、元本の合計千四百五十万円までは、利子に税金がかからないことになります。

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中相談に応じていますご気軽に相談ください。

婦人のコーナー

もう十二月です。師走です。
酉年（とりどし）のせいではないのでしょうが、飛ぶように一年がすぎてしまいました。あなたにとってどんな一年だったでしょうか？　忙しい毎日ですけど、ゆっくりふり返ってみたいものです。

各戸に国旗を

婦人会では努力点の一つに〝祝祭日は国旗をかかげよう〟をあげています。このほど県婦連青少年育成部で実態調査をしました。
本町でも婦人会員の手で十地域百人のみなさんに協力いただき、集計しました。

※　年齢
三十歳代まで　↓　四十六人
四十歳代以上　↓　五十四人

※九月十五日と九月二十三日に、国旗を掲げましたか

敬老の日 30代まで	敬老の日 40代以上	秋分の日 30代まで	秋分の日 40代以上
掲げなかった 41%	掲げなかった 63%	掲げなかった 41%	掲げなかった 54%
掲げた 41%	掲げた 63%	掲げた 41%	掲げた 54%

※掲げなかった人で「忘れていた」を理由としている人が四十歳代以上では殆んどであるのに対して、三十歳代までの人では「国旗がない」と「忘れていた」がほぼ同数でその理由にあげています。

※掲げた人は誰かでは
共に父、母が掲げている家庭が殆んどで、子供と一緒に、子供が、と答えている家庭は少い。あなたのご家庭ではいかがですか？

お正月もやってきます。各戸に国旗を掲げて祝いたいものです。

ゴミは収集日の朝に出しましょう

加治木町教育長賞（55年度省エネ作文コンクール入賞作）

省エネルギーは節約と再利用で

錦江小　六年　池畑裕子

「省エネ。省エネ。」
最近、この言葉をよく耳にします。いったい省エネとは、どんなことなのでしょうか。私は自分自身、省エネとは、省エネルギーの略語でエネルギー（石油、電気等）を大切にするということだと解釈しています。

私の家では、電気、石油、水の節約に努力しています。
まず電気です。こたつや、テレビなどのつけっぱなしをなくす。こたつもずっとつけていれば、入った時、温かいでしょう。けれど、まめに消せば大部節電することが出来るのではないでしょうか。テレビも新聞を見て自分で内容や時間を考え番組を選び、決めて見ることも大切です。また、家族で話し合ってテレビ表を作ってみるのも効果的です。テレビ表を作るとテレビにふり回されるということがなくなり、ゆっくりと勉強したり、本を読んだり、出来るようになります。

石油。石油は手軽に使えて、とても便利です。使ってしまうのは簡単ですが、石油は出来るまでに長い年月がかかります。限りのある大切なエネルギーです。私の家では、なるべくストーブをつけないようにしています。おふろも石油の方もありますが、出来るだけまきでたくようにしています。私達の次の世代まで残しておきたいと思います。

水。私の家には、昔からの井戸があり、それをモーターでくみ上げて、使っています。庭の水まきや洗たくなどは、井戸水でまかなっています。地下水と言っても、とてもきれいで水道とほとんど変わりません。とても便利だと思います。

今まで上げた三つのほかに、地下水と同じ自然のエネルギーを使うのです。太陽熱。私の家では、おふろで使っています。冬でも天気の良い日ならば、ほとんどたかなくていいぐらいのお湯が出ます。太陽も地下水も自然のエネルギーです。これから、開発され使われていかなければならないエネルギーだと思います。

私の周りには、再利用出来る物がたくさんあります。その中の一つが、あきかん。テレビの「ウルトラアイ」という番組でありましたが、あきかんを道に捨てる人が、とても多いそうです。特に、車からの投げ捨てがほとんどです。人間は道路のそばの草むらなど　見えない場所に捨てるのです。現在ではアルミあきかんの方しか再利用出来ませんが、投げ捨てられるアルミのあきかんも、たくさんあると思います。鉄のあきかんの再利用の仕方も研究中です。再利用出来る物は、有効に使っていきたいと私は考えます。

再利用されている一つ。ヤクルトやジョアのから。これもとかされて、また元のプラスチックにもどります。それで定規などを作っているそうです。私もその中の一本を持っています。日本は資源の少ない国です。これからは、今まで以上に再利用が見直されてくると思います。現在は鉄のあきかんの方が多いので、再利用の仕方も出来るだけ早く開発されれば良いでしょう。ジュースなどを売っている会社が、責任を持って回収することも大切だと思います。このことも難しいことですが、実現してほしいです。

これからの私達は、どうすれば良いのでしょうか。エネルギーを次の世代まで残すには、節約はもちろん、再利用も大切なことです。私もこれをきっかけに今まで以上省エネルギーに協力していきたいです。また私自身も、省エネルギーにつながる方法を考え出して実行していきたいと思います。

練習の成果力作がずらり

町美術展七〇八点展示

小学生とは思えない力強い書

第二十三回町美術展は、十一月十三日から十五日までの三日間、町福祉センターで開かれ、観覧者の目を楽しませました。

作品は、町内の小・中学生から習字、図工に六百十九点、一般から図画、習字、写真が四十三点、オープン参加で習字（条幅）が四十六点、計七百八点が出品されました。

この表彰式が初日の十三日、当会場で行われ、能瀬教育長のあいさつに続き、町長賞等特別賞が入賞者に贈られました。

審査評として「積み上げられた長い加治木町の文化の重味を感じました。むらのない作品ぞろいで感心しました」と講評がありました。

特別賞及び奨励賞は次のとおりです。

▽町長賞
毛筆　泊口紀世子（柁小六）
図画　竹下　千穂（柁小五）

▽議長賞
毛筆　重留　祥一（加中三）
図画　大迫　千鶴（加中三）

▽教育委員会賞
毛筆　早崎さおり（柁小五）
図画　中村　綾子（錦小三）

▽南日本新聞社賞
毛筆　白浜　渉（柁小三）
図画　安藤　春樹（永小二）

▽商工会長賞
硬筆　太田　有紀（柁小二）
工作　石塚まこと、大岩根あゆみ
小竹原あきのり（竜小一）

▽農協長賞
毛筆　前田真理子（加中二）
図画　坂元久美子（加中一）

▽南日本書道会賞
毛筆　岩川　由美（加中一）

▽小倉博文堂賞
毛筆　森下智佳子（柁小四）
硬筆　藤崎あかり（柁小一）

▽奨励賞
硬筆　福島雄俊（柁一）中村由布子（同）葛西憲太郎（同）信裕一郎（柁二）緒方直樹（同）有馬百合香（錦一）田中昭子（錦二）田島由紀子（同）

毛筆　黒木昭子（加中一）白濱論（同）甲斐雅之（同）渋谷友美（同）郡山友見（同）猪俣尚子（加中二）今市仁美（同）松崎香久美（同）田中郁代（同）堂免弓（加中三）田中美岐子（同）甲斐亜紀（柁三）須崎美智子（同）松尾理恵（同）葛西章子（同）川原佐知子（柁四）加藤浩子（同）松崎朝子（同）常盤葉子（柁五）壱岐洋久（同）中村憲哉（同）藤崎香（柁六）常盤孝子（同）重留昌実（同）田中ともみ（錦三）石神朋子（錦六）田中ルミ（同）内村いずみ（竜五）小宮路あゆみ（永四）

図画　伊集院麻子（加中一）岩城茂治（加中二）松葉瀬文代（同）上村守（加中三）ながよしかつみ（柁一）いずみしょうご（柁二）中村好一（柁四）山下直美（柁五）山下祐子（錦二）神宮達也（錦三）是枝快泉（錦六）日高ひろかず（竜一）吉村きょう一（竜二）大宮路税（永一）福森卓也（永二）小宮路あゆみ（永四）畠中紀子（永六）小森一（加養中三）

工作　久野聴（加中一）伊藤玄（柁一）白浜渉（柁三）川上宗浩（錦三）松井新（錦四）内田博久（錦六）

デザイン　尾野尚美（加中一）塩屋重信（加中二）川嵜史子（同）恒吉良一（加中三）東中村光輝（柁三）尾辻秀行（柁四）西弘美（柁五）岩元良子（錦四）山口美鈴（錦六）児玉悦子（竜六）今吉真由子（永四）

表彰式で町長賞が授与

時間励行

町民みんなで時間を大切にし，会合など時間を守りましょう。

更生保護相談

毎月第１水曜日の午前９時から12時まで相談に応じています。

“ご遠慮なく”

おしらせ

12月

町立幼稚園の園児を募集

町教育委員会では、昭和五十七年度町立幼稚園の入園願書を次のとおり受付けます。

▽**願書受付**
昭和五十七年一月十一日（月）から二十三日（土）正午まで

▽**願書提出場所**
錦江校区は、錦江幼稚園
その他の校区は、加治木幼稚園

▽**応募資格**
町内に居住し、昼間家庭に保護者がいる健康な四歳児と五歳児

▽**選考**
願書の締切後、それぞれの幼稚園で一月二十九日に行います。

選考の方法と時刻については、申し込み者全員に各幼稚園から通知します。

▽**その他**
入園願書は、昭和五十七年一月十一日以降各幼稚園にあります。募集についての問い合わせは、各幼稚園にしてください。

☎ 加治木幼稚園　二―二五〇二
錦江幼稚園　三―二〇三八

運転免許試験の手続等が変更

昭和五十七年一月二十日から車の運転免許試験場で実施する試験の受付等が電算機によって処理され、合格者には、その日に免許証が交付されます。

このため、手続き等が変わりますので、次のことにご留意ください。

○受付は、試験当日の午前八時三十分から九時まで。

○申請書や証紙販売の窓口業務は午前七時三十分から開始。

○試験場で試験を受ける人は、直接試験場で手続きを。

○申請に必要な書類など忘れますと試験は受けられません。

○受験者の多い時期には試験種別の制限をすることがありますので、毎月の「試験計画表」で確認してください。

その他、試験についてわからないことは、運転免許試験場（電〇九九五六―五―二二九五）又は各警察署の交通係におたずねください。

うぶ声

十月二十一日から十一月二十日受付分

出生者　保護者　自治会
松本　豊　徹　反土黒川
坂上謙次　明人　萩原
小牧利弥　利晴　上木田
穂森和也　義和　上木田
古江純一　弘美　小陣
黒木潤也　貞昭　岩原東
古田リエ　悟　高井田
上妻裕史　和夫　岩原東
重山美奈　重春　柳田
溝口純一　新一　柳田
永田龍太郎　久利　蔵王団地
古寺美鈴　広志　吉原
大脇真一　正弘　下新道
畠中隆多　求　春日団地
木佐貫寛　美博　柳田
常盤真吾　幸一　岩原西
後藤佑輔　敏仁　高井田
原口隆学　隆嗣　田中
福森孝治　晴夫　蔵王団地
柚木洋一　成人　今町
増田恵美　明　浜村
染川翔太　勝美　蔵王団地

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますと共に、故人の御冥福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円　下浜　川添ナルエ（光雄64）
一万円　本町　渡辺義美（キヨ子57）
三万円　西反土後　林　ハナ（松岡79）
五万円　中野　有村新一（ミヨ67）
二万円　上木田　徳寄ミキ（繁68）
二万円　天神　上小牧静（スミ75）
三万円　川内　東木武一（テル82）
五万円　新道　安楽　忠（ミエ79）

○十月二十一日から十一月二十日までの御寄付を掲載いたしました。

訂正とおわび

十一月号御寄付の記事中＝町育英奨学資金へ＝の一万円長谷　上村キヨノ（光雄65）は二万円…の間違いでした。おわびしてお知らせいたします。

十二月二十日（日）は町内美化活動の日です。

第2回師走市

とき　12月19日～20日
ところ　蒲生田通り
（役場前～十号線）
出店等約300店が開店します。

税金は納期内に

今月は固定資産税第4期の納期です。

泰平一家

森比呂志